

横浜市立 港南台ひの特別支援学校 令和 3 年度版 中期学校経営方針 (令和元～3年度)

学校 教育 目標	「たくましく ころゆたかに 生きていく子」					
	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろなことにとりくみ、できることをひろげよう。(知) ○ じぶんをたいせつにし、ひとにやさしくしよう。(徳) ○ じょうぶなからだをつくろう。(体) ○ ともだちをつくり、たすけあおう。(公) ○ あたらしいことにチャレンジしよう。(開) 					
学校 概要	創立 50 周年	学校長 井戸 大輔	副校長 小澤孝之, 金井大	2 学期制	幼児・児童・生徒数 214 人	
幼稚部: 小学部: 86 人 中学部: 53 人 高等部本科: 75 人 専攻科:						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	「(12)年間で育てる子ども像」と 具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・身辺自立、社会(集団)適応能力 ・自己有用感、自己肯定感 ・自己選択、自己決定する力 ・コミュニケーション能力 	<ul style="list-style-type: none"> ○「できるようになりたい」という気持ちを持ち、主体的に学習に取り組む子ども ○他者や社会との関わりの中で、働くことや社会の中でよりよく生きる喜びを感じる子ども ○余暇活動を通して、家族や友だちと楽しく過ごす子ども ・学び続ける教職員集団を目指し、教職員一人ひとりが主体的に校内や校外での研修に取り組み、専門的知識を向上させる。 ・児童生徒の実態把握や支援方法等に関する議論を組織的に行い、チーム力を高めることで、子どもたちのキャリア発達を適切に支援していく。 ・子どもたちが自己有用感に裏付けられた自己肯定感の高まりを感じられるように、地域協働を進め、学校と地域がwin-winの関係を構築する。

中期 取組 目標	<p>(1) 生きる力を育てる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分らしく生きる力」や「丈夫でたくましい心と体」を育みます。一人ひとりを大切に、個々に対応した指導の充実を図ります。 <p>(2) 主体的な活動や学びを引き出す学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを伝える力と友だちと一緒に学校生活を楽しむ気持ちを育てます。 ・楽しくてわかりやすい、丁寧な指導を行い、見通しを持って安心して活動できる学習環境を整えます。 <p>(3) みんなが集まる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな社会性や人間性を育むため、交流学习や地域の人々との活動を積極的に行います。 ・センター的機能を充実し地域連携を深めます。
-------------------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 教育課程検討委員会・研究研修部	①学習活動の充実に資するため、年間指導計画と日々の授業計画の運用改善を行い、系統的指導の確立を目指す。 ②GIGAスクール構想の具体化に向けて、本校におけるICT教育の活動実践について共有を図るとともに、実態に適した指導内容や指導体制について検討していく。また、タブレット端末を使った学習指導に関する校内研修を運営する。
豊かな心 担当 B特活係	①子どもたちがいろいろな人とかわかり、人や場所に慣れ親しめるように、学年やクラス、学習グループの実態に応じて、新しい生活様式に準拠した活動内容や環境設定について検討し、取り組んでいく。 ②集団活動を通して、共に活動する楽しさや喜びを感じるとともに、自分や相手の良さに気づき、主体的に他者とかわかろうとする態度を育てる。
健やかな体 担当 B体育係・給食支援部	①学級担任と養護教諭、栄養教諭の連携を深め、成長段階に応じた食育指導について具現化する。摂食を伴う学習については、食育の視点から適切な指導方法について検討していく。 ②日々の体育の指導やランニングを通して、基礎的な体力の向上を目指すとともに、個に応じた性教育にも取り組み、心身の発達に取り組んでいく。
センター的機能の 取組 担当 特別支援教育Co	①地域の小中学校の特別な支援が必要な児童生徒への適切な支援方法や関係機関との連携について、具体的に支援を行うことと、横浜型センター的機能をさらに推進する。 ②地域の福祉、医療、行政等の関係機関との連絡調整や各区の自立支援協議会との連携を通して、地域における障害理解啓発に努める。
学びの場の つながり 担当 交流教育部	①「学びの場のつながり」を重視し、副学籍交流や学校間の交流を充実させるため、地域への発信についても、新しい生活様式に応じた交流方法を模索、実施、検討していく。
地域協働 キャリア発達支援 担当 教育課程検討委員会	①高等部教育課程の見直し、特に作業学習の教育内容や指導形態について、生徒それぞれが自己肯定感を高められるような取組について検討していく。 ②12年間を通したキャリア発達支援に資するため、各学部の指導内容について他学部の視点を得やすい機会を設定し、学部間の繋がりを生かす研修を実施する。
保健管理 担当 医ケア食アレルギー委員会・教育課程検討委員会	①多様化する子どもたちの健康面や生活面における課題に対して、各担任と保護者・養護教諭・栄養教諭・関係機関等が連携して対応する。 ②新型コロナウイルスを含む集団感染のおそれのある感染症に対し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう適切な感染症対策に取り組む。 ③各授業における感染症対策について、市教委のガイドラインに基づきながら学習指組織で具体的取組を検討し、学部間で共通の対応をしていく。
学校運営協議会 担当 学校経営推進会	①校内の教育活動について、保護者や地域、関係機関に対して適切な内容を適切な媒体を用いて発信していく。 ②校内の現状について適切に情報共有を図ることで、学校運営協議会との連携をより深め、教育活動の積極的な改善に繋げていく。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会・学部連絡会	①子どもたちの小さな変化にも迅速に対応できるよう、日々の様子について担任間、学年間、学部間で共有しやすい具体的仕組みについて見直しを図る。 ②保護者から得た情報について担任間でしっかりと共有できるよう具体的方法について見直しを図るとともに、必要に応じて関係機関と連携して対応できるような情報共有方法の見直しを図る。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 研究研修部・学校経営推進会	①校内初任研やメンター研を中心に経験の浅い教員に対する人材育成や課題解決を積極的に行うとともに、授業力向上に主眼を置いた授業研究のあり方や参加体制について検討していく。 ②各分掌業務の見える化を推進し、効率的な業務運営及び適切な業務分担の仕組みについて見直しを図る。